

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
512	訪問指導事業	会計	01	一般会計	
1	10万市民の健康を維持する	款	04	衛生費	
		項	01	保健衛生費	
		目	01	保健衛生総務費	
		細目	102	保健事業	
		細々目	05	訪問指導事業(負担金分)	
担当部課名	阿山支所 健康福祉課				
作成者氏名	森下 泰成	連絡先	43-9711		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	保健指導が必要な方及びその家族	対象者及びその家族の健康の保持増進が図れる。			
本年度事業内容	療養上の保健指導が必要な方及びその家族に対して保健師が訪問し、必要な保健指導を実施する。				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	94	114	114
需用費	94	114	114
その他			
合計(A+B)	1,534	1,554	1,554
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	38	38	
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,496	1,516	1,554
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
訪問指導事務経費	円	94	114	114			
訪問指導件数	件	45	50	55			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
訪問指導件数	訪問指導延べ件数	件	45 目標 ( )	50	55
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

訪問指導による生活改善の状況は効果の判定が難しいが、個人の問題に具体的にかかわるため改善に結びつきやすい。1件の支援に対して時間がかかるので、関係機関との連携を効率的に行う必要がある。

評価	必要性	4	個人及び家族の健康の保持増進のため必要	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		